



さんじょう

八戸市立三條小学校
令和2年度学校だより
第19号
令和2年12月15日
☎ 27-2216



今年もあと半月

校長 河村雅庸

12月もなかばとなり、いよいよ年の瀬に向けた準備に背中を押される頃となりました。保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。昨日の朝は、思わぬ雪の多さに驚かれた方も多いと思います。登校する子どもたちの様子を見ながら、横断歩道付近の雪を片付けていたら、数人の子が「おはようございます。」のあとに、「校長先生、雪片付けありがとうございます。」と声をかけてくれました。大変寒い朝でしたが、心があたたかくなりました。プラス1で、相手を気遣う、相手を思いやる言葉が自然と出てくる三条っ子をうれしく思っています。

さて、先月の参観日には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。どの学級の子も2学期の成長ぶりを見せようと朝から張り切っていましたが、保護者の皆様の目にはどのように映ったでしょうか。また、参観日の日にお願ひしたアンケートについても、お忙しい中ご協力くださりありがとうございました。集計結果の大まかなところは、以下のとおりです。

【成果】(1学期よりも評価が上がった項目)

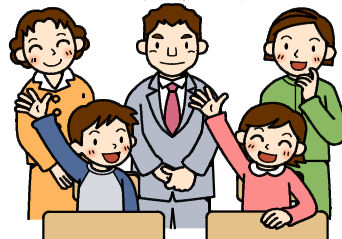
- 話をしっかり聞く、家庭学習
- 挨拶、正しい言葉遣い、友達と仲よく過ごす

【課題】(1学期よりも評価が下がった項目)

- 自分の考えをはっきり話す
- 体力の向上、早寝・早起き・朝ご飯

また、自由記述では、コロナ禍の中でもできる教育活動の対策を講じてきたことへの感謝の記述をいただいた一方で、「のびる力」の確認や保護者との連絡の取り方等へのご意見をいただきました。アンケート結果や記述でいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。

今学期の学校生活も残すところ6日。家庭・地域での、健康や安全についての声かけ、見届けをよろしく願ひいたします。



今日の午後、6年生がしめ飾りづくりを行いました。これに先がけて12日に行われた藁打ちに、数名の職員とともに参加させていただきました。当日は、20名を超える有志の方々が参加され、しめ飾り用の藁づくりをしてくださいました。藁から不要なところをとる作業、わらを打つ作業などを分担し、手際よく進める様は一体感のあるものでした。



天気も味方してくれ、穏やかな日の光を浴びながら、楽しく参加させていただきました。(私は、もっぱら見学、声かけ担当でしたが)そして、全ての作業が終了した後、参加された皆さんとの団らんの時間を過ごすこともできました。地域の皆様とご一緒する場をなかなかもつことができない今年度ですが、コロナ禍のような閉塞感など何一つ感じる事のない、とても和やかな時間を過ごさせていただきました。三条の絆の強さや温かさに、三条の原風景を感じた日となりました。ご協力いただいた皆様に、改めてお礼申し上げます。

～冬休みも感染症対策を～

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている冬休みになります。ただし例年と違うのは、これまでの新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行いながらの冬休みということです。

子どもたちが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるよう、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

【感染予防の3つの基本】

- ①身体的距離の確保
(概ね1～2m)
- ②マスクの着用
(人との間隔が十分とれない場合は、必ず着用する)
- ③手洗い・手指消毒
(30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う)



【日常生活を営む上での基本的な生活様式】

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 抵抗力を高める
(免疫力を高めるため、早寝早起き、バランスのとれた食事、運動)



【新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見等の防止】

もし、身近に感染者が出たとしても、思いやり、いたわりの心で。

～12月前半の子どもたちの様子から～



<笑顔！ 挨拶スタンプラリー>



<夢中！ 令和版八戸郷土カルタ>



<激走！ 白銀の校庭>

もうすぐ冬休み。
私が小学生の頃は、お昼を除いてはずっと外にいてミニスキーやソリを滑ったり、奴凧をあげたりして遊んでいました。おかげで、手や顔、足には、いつも霜焼けやあかぎれが。
寒さに負けず、外で元気に遊ぶ三条っ子になってほしいな～。

